

センターだより

令和3年10月15日

No. 72

東濃西部少年センター TEL23-3455 FAX26-8813

所 長 今 井 宏 明
指導主任 林 千 尋
事 務 柴 田 弥 生

「三地区合同研修会」開催日延期のお知らせ

昨年度から続いている新型コロナウイルス感染症の影響で、少年センターとしての行事が開催できないことがたくさんあります。指導員の方を対象とする「新任研修会」は2年続けて中止となりました。また、「三地区合同研修会」において、昨年度は中止となり、今年度も開催が危ぶまれています。しかし、「より良い『声かけ活動』ができるために、研修会は大切」というご意見を聞くことが多く、今回ソーシャルディスタンスに配慮した上での開催をしようと思っています。ただし開催期日につきましては、当初予定していた10月9日（土）から11月27日（土）へと延期しましたのでご承知おき下さい。

コロナ禍ということでもありますので、ご自身の体調やご家族・職場での状況から、無理のない中で参加いただければ幸いです。

尚、研修会でご講演をお願いしてある「松下邦雄氏」には、今後の声かけ活動の際に参考となる貴重な話を聴かせて頂きます。

- ・日 時 令和3年11月27日（土）9時45分～12時00分
- ・会 場 セラトピア土岐 3F 大会議室
- 演 題 「子どもたちとの関わりから生まれるもの」
前中京高等学校 校長 松下 邦雄 氏

「声かけ活動 巡回経路」回ってみました

指導員の方々には、各地区を回って声かけ活動を行っていただき、とても有難いです。その際の主な出来事は「指導日誌」に記載していただき、「センター月だより」の中でもお知らせしています。巡回をお願いしている指導員の方々には、「ケガや事故のないよう、安全に回って頂けること」を第一に願っています。少年センターとしても、指導員の方の安全を守るため、それぞれの巡回コースを実際に回ってみました。安全点検も兼ね、あえて雨脚の強い日を選んで回りましたが、歩いて回るのに大変な個所もいくつかありました。改めて、日ごろ、そうした個所を回っていただいている指導員の方々には感謝いたします。

「声かけ」を主とする活動であるので、巡回中に会う子どもたちとのふれあいを大切にしていただければと思っています。決して「指導取り締まり」を目的とするものではありませんので、ご承知おきください。

これから季節も秋から冬に移っていき、寒さも厳しくなってきます。くれぐれもお身体を大切にして、決して無理のないように活動していただきたいです。

「MS J リーダーズ 中学生も積極的に活動①（北陵中学校）」

岐阜県内の高校生による「MS リーダーズ」の活動と共に、中学校ではMSに junior の J を加えて「MS J リーダーズ」として活動しています。

この活動に以前から積極的に取り組んでいる多治見市立北陵中学校では、校訓として大切にしている「誠実」の精神と関わらせ、「M（もっと）S（誠実な）J（自分に）」を合言葉として全校生徒に呼びかけ活動を行っています。

「ボランティア」は北陵中学校の5本柱（授業・合唱・掃除・あいさつ・ボランティア）の活動の一つとして大切にされ、そうした取り組みの成果もあり、49名の生徒が意欲的に「MS J リーダーズ」に応募し熱心に活動しています。

北陵中学校では、ボランティアやマナー向上についての活動内容をMS J リーダーズの生徒たち自らが計画書を作成し、取り組んでいることも大きな特徴です。

計画書のアイデアの中には、「小学生と連携したあいさつの活性化」・「地域の清掃活動」・「医療従事者の方への感謝のためのプチ資源回収・ペットボトルキャップ集め・ベルマーク集め」など、中学生の目線で捉えたものがたくさんあります。今年もそうした計画の中からいくつかを選び、熱心な活動が行われています。

また、北陵中学校の MSJ リーダーズの活動を陰で支えてくださっているのは、生徒指導主事の北村先生です。熱心に生徒たちへの呼びかけをして頂き、とてもありがたいです。



「MS J リーダーズ 中学生も積極的に活動②（土岐津中学校）」

7月に土岐市で「土岐市あいさつデー」が一斉に行われました。土岐市役所北側の横断歩道付近でも小学生・中学生の登校を見守り、さわやかな挨拶が交わされていました。

その場所では、土岐市教育長様をはじめとして市議会、市教委、学校、地域など、たくさんの関係者の方々が集まり、子どもたちの登校の様子を見守ってみえました。

そうした大人の方々が並んでみえるところへ、一人の女子中学生（土岐津中学校）が歩み寄り「土岐津中学校でMS J リーダーズの活動をおこなっています。今日は一緒にあいさつデーに参加させていただきます。よろしくお願いします。」と自己紹介していました。その堂々とした立ち振る舞いに感心させられました。土岐津中学校の伊藤校長先生がお見えになっていたのも、土岐津中学校ではMS J リーダーズに加入している生徒さんが日ごろから熱心に活動していることのお話を聞かせていただけました。



「高校生（多治見西高校）による、明るい街づくりの啓発活動」

多治見西高等学校のMSリーダーズの皆さんは、年間を通して「明るい街づくり」のための啓発活動を積極的に実施してみえます。

今年度の第1回目は、7月12日、3年生の生徒（102名参加）の皆さんが朝7時30分から、小泉駅前・学校校門前など、高校周辺に分かれ、鈴木校長先生・生徒指導主事の三和先生・3年生の先生方と一緒に啓発活動を行いました。

この日は「ゆずりあう心で夏の交通事故防止」をスローガンとして、交通安全の呼びかけを行いました。

コロナ禍の中、「安全・安心」が叫ばれていますが、西高生の活動は、安全を守るために必要な『心が安らぐ活動』でした。



「多治見市図書館」の紹介

少年センターが入っている「ヤマカまなびパーク」内には、「多治見市図書館」があります。2・3階フロアに設置されていますが、とても工夫された充実した便利な図書館です。多治見市図書館の運営方針は、以下のように紹介されています。

「市民と情報を繋ぐ 市民と市民を繋ぐ

そして新しい世界へと繋ぐ図書館へ」

乳幼児から高齢者まで、幅広く「誰もが使いやすい環境」を提供していただいています。図書館へ出向いての本の貸し出しはもちろん、インターネットによる読みたい本の検索・予約なども手軽にでき、とても便利です。

新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、「本の除菌機」が設置されているなど、とても細やかな配慮が施されています。

コロナ禍でソーシャルディスタンスが叫ばれている今、静かに本を読む環境はとても大切な場となっています。ぜひ、多治見市図書館へ足を運んでみるといいかと思います。

利用状況をお聞きすると、若干、高校生の年代の利用数が少ないようです。

「ヤマカまなびパーク」内4階には、日ごろ高校生が利用している「学習スペース」もあります。ぜひ、高校生にも多治見市図書館をたくさん利用してほしいです。

多治見市図書館を利用したことのない方は、一度インターネットで多治見市図書館を覗いてみてください。きっと、利用してみたくなると思います。



「少年センターへの相談・あれこれ」（6～10月）」

少年センターへの連絡は、電話による「あんしんコール」や「少年センターへ直接来所されての相談」、メールによる「あんしんメール」などになっています。

今年度になっての大きな変化は、連絡件数の増加です。「あんしんコール」での連絡は、今現在、昨年の連絡件数をすでに上回っています。その一つの要因として考えられるのは、「悩み事相談」だけではなく「楽しい話題・伝えたい情報」など、窓口を広くしたからではないかと思われます。また、啓発活動を行っている高校生とできるだけ多く話す場を設けたことがきっかけとなり、連絡してきてくれる高校生の数も増えているようです。

6～10月に少年センターへ相談及び連絡をいただいている中で、連絡者の方のご了解を得ている内容について、一部紹介をさせていただきます。

○小学校のお子さんを持つ母親から、「少年センターから学校を通して配付されたクリアファイル子どもから受け取りました。少年センターの相談窓口が記載されていたので連絡してみました。」と電話が入りました。

内容は、子どもが通う小学校についてのご相談でした。事情を伺い、「できれば、小学校の先生と直接お話して、気にしてみえることが学校の先生に伝わるといいですね。」と伝えました。保護者の方から「センターからも小学校へ連絡していただけますか？」との依頼を受け、小学校の校長先生へ少年センターから連絡しました。

翌日、保護者の方から「小学校の先生と話し合いができました。校長先生も承知してもらっていたので安心しました。」との報告をいただきました。

○中体連の市大会が終わった3年生の男子生徒から、高校への進路選択について相談がありました。「中学校3年間頑張ってきたバスケットボールを高校でも続けたいけど、親からは『勉強に専念してほしい』と言われる。」

進路選択はとても大切な問題であり、真剣に考えている様子が電話からでも伝わってきました。

話の最後には、「自分の考えをしっかりと固めから、その思いを親に伝え相談します。まずは、学力をつけます。電話して、話を聞いてもらってよかったです。」と力強く語ってくれました。

きっと、充実した残りの中学校生活、そして悔いのない進路選択ができると感じました。

○小学3年生の娘さんを持つ母親から、「うれしかった話題でもいいですか？」ということで連絡をいただきました。

内容は、食物アレルギーを抱える娘さんについてでした。

「娘は、乳製品アレルギーのため、牛乳やヨーグルト・チーズなどを使用している給食が食べられず、家から代替食を待たせていました。学校がとてもよく理解して下さり、世話をしてもらえるので安心です。先日、主治医の先生から『普通職でも大丈夫な状態に改善してきているので、もうしばらくの我慢です』と、お話しいただきました。本人はもちろんのこと、家族みんなで喜んでいきます。本当にうれしかったので、つい電話しました。」

こんな素敵な連絡をいただき、こちらも話を聞いていてうれしくなりました。

今年度から、「悩み事相談」だけではなく「楽しい話題」「伝えたい情報」といったアナウンスにして本当に良かったと思う瞬間でした。